

[<戻る](#)

2 水域毎の測定結果

(1) 河川

○ 水域類型が定められている31水域(27河川)のうち、BODの環境基準を達成しているのは、26水域(84%)であり、前年度より1水域増加している。(表2)

○ 測定地点毎の適合状況では、84地点(27河川)のうち70地点(83%)がBODの環境基準に適合しており、前年度より9地点増加している。(表3)

表2 BODの環境基準の達成水域数の推移

年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
水域数	32	32	32	32	31	31
達成水域数	25	25	27	29	25	26
達成率	78%	78%	84%	91%	81%	84%

表3 BODの環境基準の適合地点数の推移

年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
測定地点数	84	84	84	84	84	84
適合地点数	57	59	66	71	61	70
適合率	68%	70%	79%	85%	73%	83%

ア 県内の主要河川

○ 多摩川(中・下流部B類型)は、BODの環境基準を達成している。

鶴見川は、上流部(D類型)においてBODの環境基準を達成していない。

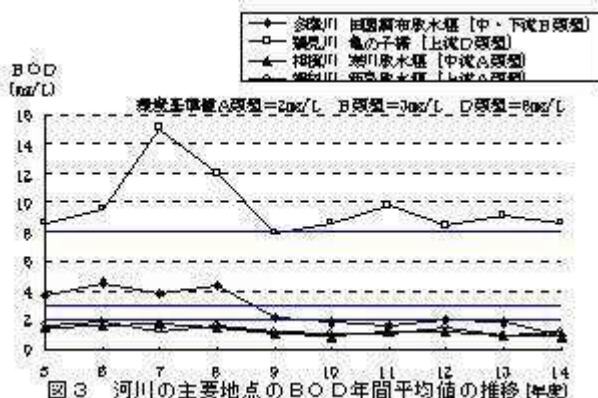
水道水源となっている相模川(中流部A類型)、酒匂川(上流部A類型)は、いずれもBODの環境基準を達成している。(表4)

○ 多摩川、鶴見川、相模川及び酒匂川の主要地点のBODの年間平均値をみると、多摩川では前年よりやや低く、鶴見川、相模川及び酒匂川でほぼ同様である。(図3)

表4 主要河川のBODの環境基準の達成状況

水域名	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
多摩川中・下流	○	○	○	○	× <sup>注</sup>	○ <sup>注</sup>
鶴見川上流	×	×	×	×	×	×
鶴見川下流	○	○	○	○	○	○
相模川中流	○	○	○	○	○	○
相模川下流	○	○	○	○	○	○
酒匂川上流	○	○	○	○	○	○
酒匂川下流	○	○	○	○	○	○

注:平成12年度末に、中・下流一括指定された。  
(上段は中流域、下段は下流域)



イ その他の河川

○ 帷子川、入江川などの県東部の河川では、すべての河川でBODの環境基準を達成している。  
 金目川、葛川、境川などの県中央部の河川では、境川、中村川が前年度に続きBODの環境基準を達成している。早川、山王川などの県西部のすべての河川で、BODの環境基準を達成している。

(2) 湖沼

○ 水域類型が定められている4水域のうち、BOD又はCODの環境基準を達成しているのは2水域(相模湖、丹沢湖)であり、2水域(津久井湖、芦ノ湖)は達成していない。(表5)  
 ○ 測定地点毎の適合状況では、17地点のうち11地点(65%)がBOD又はCODの環境基準に適合しており、前年度より1地点減少している。(表6)

表5 BOD又はCODの環境基準の達成水域数の推移

年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
水域数	4	4	4	4	4	4
達成水域数	3	3	3	3	3	2
達成率	75%	75%	75%	75%	75%	50%

表6 BOD又はCODの環境基準の適合地点数の推移

年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
測定地点数	17	17	17	17	17	17
適合地点数	10	13	13	13	12	11
適合割合	59%	76%	76%	76%	71%	65%

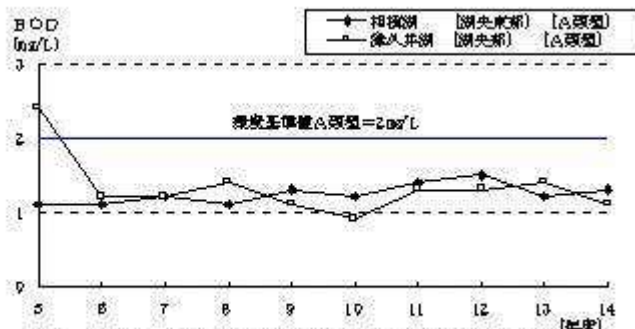
ア 相模湖、津久井湖

○ 相模湖は(河川A類型)の環境基準を達成しているが、津久井湖(河川A類型)は4月から6月に発生した植物プランクトンの影響により14年度は未達成となった。なお、環境基準の達成状況は環境基準点(津久井湖は、沼本ダム)のBOD75%値で評価している。(表7)

○ 主要地点(湖の中央部)のBOD年間平均値をみると、相模湖の湖央東部は、前年度とほぼ同様であり、経年的には1.5mg/L以下で推移している。津久井湖の湖央部は、経年的には1.4mg/L以下で推移している。(図4)

表7 BODの環境基準の達成状況

水域名	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
相模湖	○	○	○	○	○	○
津久井湖	○	○	○	○	○	×



イ 芦ノ湖、丹沢湖

○ 芦ノ湖は、自然環境保全の目的から最も厳しい湖沼AA類型に指定されており、CODの環境基準は達成していない。丹沢湖は、湖沼A類型の環境基準を達成している。(表8)

○ 主要地点のCOD年間平均値をみると、芦ノ湖の湖央部、丹沢湖の湖央部ともに、経年的には2mg/L以下で推移している。(図5)

表8 CODの環境基準の達成状況

水域名	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
芦ノ湖	×	×	×	×	×	×
丹沢湖	○	○	○	○	○	○

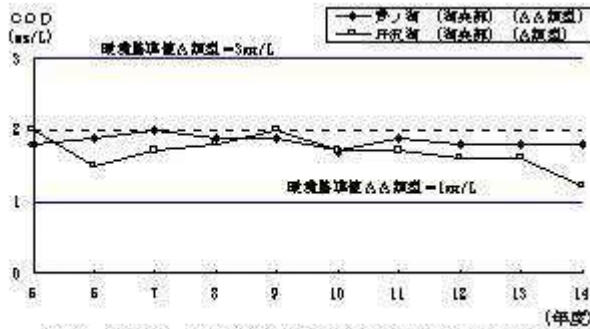


図5 芦ノ湖、丹沢湖の主要地点のCOD年平均値の推移

(3) 海域

○水域類型が定められている13水域(東京湾11水域、相模湾2水域)のうち、CODの環境基準を達成しているのは9水域(69%)で、前年度より1水域減少した。(表9)

○また、測定地点毎の適合状況では、43地点(東京湾23地点、相模湾20地点)のうち34地点(79%)がCODの環境基準に適合しており、これは前年度より3地点減少している。(表10)

表9 CODの環境基準の達成水域数の推移

年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
水域数	13	13	13	13	13	13
達成水域数	11	8	9	9	10	9
達成率	85%	62%	69%	69%	77%	69%

表10 CODの環境基準の適合地点数の推移

年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
測定地点数	43	43	43	43	43	43
適合地点数	39	33	33	35	37	34
適合割合	91%	77%	77%	81%	86%	79%

ア 東京湾

○東京湾は11水域(A類型2水域、B類型6水域、C類型3水域)のうち7水域でCODの環境基準を達成している。(表11)

○主要地点のCOD年間平均値をみると、沿岸部の一部ではやや上昇地点もあるが、全体的には、ほぼ横ばいの状況にある。(図6)

表11 CODの環境基準の達成状況

水域名	類型	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
東京湾(6)	C	○	○	○	○	○	○
東京湾(7)	C	○	○	○	○	○	○
東京湾(8)	C	○	○	○	○	○	○
東京湾(9)	B	○	×	×	○	○	×
東京湾(10)	B	×	×	×	×	×	×
東京湾(12)	B	○	×	×	×	○	×
東京湾(13)	B	○	○	○	○	○	○
東京湾(14)	B	○	○	○	○	○	○
東京湾(15)	B	○	○	○	○	○	○
東京湾(16)	A	×	×	×	×	×	×
東京湾(17)	A	○	×	○	×	×	○

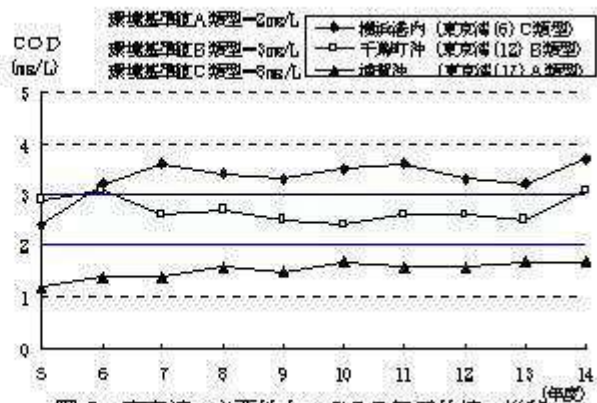


図6 東京湾の主要地点のCOD年平均値の推移

イ 相模湾

○ 相模湾は2水域ともA類型の環境基準を達成している。(表12)

○ 主要地点のCOD年間平均値をみると、各地点とも前年度とほぼ同程度であり、経年的には、ほぼ横ばいの状況にある。(図7)

表12 CODの環境基準の達成状況

水域名	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
相模湾(1)	○	○	○	○	○	○
相模湾(2)	○	○	○	○	○	○

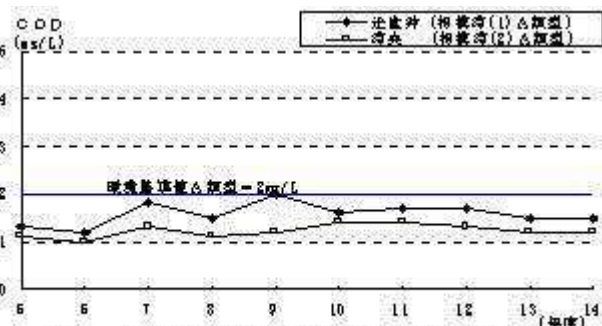


図7 相模湾の主要地点のCOD年平均値の推移

[<戻る](#)